

第5回 ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会 議事要旨

日 時：平成27年3月24日（火）10：00～12：00

場 所：経済産業省本館1階西共用会議室

出席者：角山委員、尾野委員、加藤委員、弓取委員、河村委員代理（森山委員代理出席）、吉田委員代理（星委員代理出席）、袖岡委員、村松委員、岩見委員、嶺委員代理（森委員代理出席）、松本委員、星野委員、佐脇委員、戸高委員、豊島委員

議 題：1. 国土交通省からの説明
2. ロボット研究・実証拠点整備等に関するこれまでの議論の整理
3. 自由討議

議事概要：

（1）国土交通省からの説明

国土交通省より、国土交通省におけるロボットの取組（雲仙普賢岳から始まる無人化施工の取組み、次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進）について説明。

（2）ロボット研究・実証拠点整備等に関するこれまでの議論の整理

事務局より、これまでのロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会での議論を踏まえ、ロボットテストフィールドへのニーズ及び先行事例の調査結果、調査結果を踏まえた拠点整備の考え方、発展の方向性と方策について説明。

（3）委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・ロボットテストフィールドの整備を行った後、いかにそのテストフィールドが新鮮さを保てるか、つまり外から人を呼び寄せられ続けるかが重要。地域住民も巻き込みながらこのような新鮮さを確保できるとよい。
- ・単なるロボットの実証拠点としてではなく、地域の産業集積拠点としての機能も重要。ニーズの掘り起こしや、ロボット産業が集積する仕組みが必要となる。
- ・拠点整備に当たっては、機能の拡張性も織り込んでおくべき。最終的にはディザスターシティのような拠点を目指していくのだと思う。